

# 持続可能な島づくりに向けた方針

1.安心して暮らし続ける島 R9目標：「佐渡に住み続けたい人の割合増加」 78.4% (R2) → 90%

(1)市民と共に創る安全・安心な島

主な指標

★公共交通に関する市民満足度の向上  
「安心できる」、「やや安心できる」 50% (R5 : 10%)

★防災対策への満足度の向上  
50% (R2 : 23%)

(2)子どもから高齢者まで夢や希望が持てる島

★子育て環境や支援の満足度の向上  
就学前児童の保護者：62%、小学生の保護者：60%  
(R6 : 59%、55%)

★健康寿命(平均自立期間)の延伸  
男性：78.3歳、女性：84.1歳  
(R6:男性：78.0歳、女性：83.8歳)

(3)医療・介護・福祉を守る島

★困りごとの相談先がある人の割合向上  
92% (R4 : 89%)

★病院看護師の新規就職数の確保  
15名 (R7 : 7名)

2.人が賑わう元気な島 R9目標：「生産年齢人口の割合維持」 46.3% (R6) → 46%台維持

(1)豊かな自然と歴史・文化が薫る島

★観光入込客数の増加  
年間60万人 (R7 : 49.7万人)

交流から移住・定住へ

(2)元気な経済と多様な人が活躍する島

主な指標

★UIターン者の増加  
年間470人 (R6 : 445人)

★市内経済循環率向上  
75% (R4 : 69%)

3.教育

地域教育の推進

★卒業後佐渡に戻って就職したい  
学生の割合の向上 62.2% (R7 : 57.2%)

島の未来を

創るための基盤

4.行財政改革

★基金に依存しない予算編成  
財政調整基金残高25億円 (R6:23.7億円)

【凡例】  
 ・主要事業：★  
 ・新規（拡充）事業  
 ※当初予算の概要P5～7参照

【自治組織の維持・公共交通の維持】

【災害に強い地域づくり】

【ライフラインの維持】

戦略

【R9主な指標】

- ・コミュニティの活性化
- ・関係人口・交流人口の拡大
- ・公共交通の利便性向上・交通網再編

【地域活動に参加した経験のある市民の割合増】  
 【公共交通市民満足度 R5：10%⇒50%】

戦術

【R8の主な取組】

【コミュニティの活性化】

- <地域産業振興課>
- コミュニティ活動支援

【関係人口・交流人口の拡大】

- <移住交流推進課>
- 地域おこし協力隊の活用 現状6人⇒R8：12人  
 ★地域おこし協力隊活用事業（35,245千円）

【公共交通の利便性向上・交通網再編】

- <交通政策課>
- 市営コミュニティバスへの移行  
 ★コミュニティバス運行事業のうち「市営コミュニティバス運用に向けた準備」（39,800千円）

- 循環バス実証調査  
 ★コミュニティバス運行事業のうち「循環バス実証調査」（24,600千円）

- 佐渡空港2,000m化・早期航空路線開設

- ・「自助・共助・公助」が連携した防災体制の構築
- ・地域特性に対応した災害に強い基盤と環境づくりの推進

【防災対策満足度R2：23%⇒50%】  
 【市内住宅の耐震化率R5：71.9%⇒76%以上】

【「自助・共助・公助」が連携した防災体制の構築】

- <防災課>
- ・地区防災計画策定推進 R9目標：100%
- ★防災対策事業のうち、  
 V2H・避難所用備品購入（13,088千円）  
 自主防災組織育成補助金(孤立集落支援)(400千円)

【地域特性に対応した災害に強い基盤と環境づくりの推進】

- <建築住宅課>
- ★耐震診断改修等事業（12,189千円）

- ・環境の保全と公共衛生の向上
- ・計画的かつ効率的なインフラの維持管理

【1日1人当たりゴミ排出量R6：1,103g⇒978g】  
 【市道橋梁の修繕着手率R6：49%⇒73%以上】  
 【重要施設に接続する水道管路の耐震化R6：22%⇒25%】

【環境の保全と公共衛生の向上】

- <生活環境課>
- ごみ処理施設の適正な管理運営  
 ★ごみ処理施設運営費（1,032,833千円）
- 3Rの推進  
 ・食品ロス削減・衣類のリユース  
 ★リサイクル推進事業のうち生ごみ処理機設置補助金（21,200千円）

【計画的かつ効率的なインフラの維持管理】

- <建設課>
- ★安全・安心まちづくり事業（191,000千円）
- ★道路メンテナンス事業（橋梁等の定期点検及び修繕計画策定）（35,200千円）
- ★社会資本整備総合交付金事業（道路その他修繕）（208,500千円）
- ★道路メンテナンス事業（橋梁その他修繕）（152,300千円）
- ★社会資本整備総合交付金事業（改築系）（161,053千円）

<上下水道課>

- 水道事業会計  
 ・施設統合とセットで耐震化  
 ★老朽管更新事業【水道事業会計】（286,600千円）
- 下水道事業会計  
 ・計画的な老朽管更新  
 ★下水道広域化推進総合事業【下水道事業会計】（161,500千円）

【子どもを産み育てやすい島の環境づくり】

【健康寿命日本一の実現】

戦略

【R9主な指標】

- ・ 出会い～結婚までの支援
- ・ 妊娠・出産への精神的、経済的支援
- ・ 子育てしやすい環境づくりと経済的支援

【婚姻率：R6:2.6%⇒3.1%】

【出生数：R6:162人⇒130人】

【子育て環境や支援の満足度：就学前児童の保護者：R6:59%⇒62%、  
小学生の保護者：R6:55%⇒60%】

戦術

【R8の主な取組】

【出会い～結婚までの支援】

○ 出会いイベント、セミナー等開催【参加者数 R7:延べ79人⇒R8:延べ80人】

○ 結婚新生活支援

<地域産業振興課>

★ 出会いの場創出事業（6,267千円）

【妊娠・出産の精神的、経済的支援】

○ 妊婦への食支援【妊婦の主食3食摂取割合 R6:65%⇒R8:80%】

○ 不妊・不育治療費補助、妊産婦医療費助成、産後ケア、子育て支援拠点を活用した相談等

○ 妊産婦への支援金支給【出生数】R6:162人⇒R8:140人

<健康医療対策課>

★ すこやかな妊娠・出産事業のうち「妊婦の食支援事業」（303千円）

★ 出産・子育て応援事業（24,251千円）

【子育てしやすい環境づくりと経済的支援】

○ 子育て支援の拠点機能強化

○ データ活用による支援者早期把握・児童育成支援拠点との連携

○ 出産、多子成長祝金による支援

<子ども若者課>

★ 子育て支援対策事業（子育て交流ひろば）（10,101千円）

★ 子ども若者相談事業（こどもデータ連携事業・児童育成支援拠点事業）（16,851千円）

○ 小学校給食無償化・中学校給食負担軽減

<学校教育課>

・ 「学校給食食材費支援事業補助金」（54,321千円）（※当初予算の概要P18）

・ 疾病予防と生活習慣病重症化予防（高血圧症、糖尿病）

・ フレイル予防

・ すべての人の健やかな生活習慣の形成

【健康寿命：R6:男78.0歳⇒78.3歳、R6:女83.8歳⇒84.1歳】

【肥満者の割合（40～60歳代）：R6:男35.8%⇒34.1%、R6:女26.7%⇒23.2%】

【高齢者の生活の満足度（満足・やや満足）：R4:78%⇒82%】

【疾病予防と生活習慣病重症化予防（高血圧症、糖尿病）】・【フレイル予防】

○ 全体：「食・運動」カラダにやさしお（減塩・野菜摂取）普及啓発、肥満予防対策、スポーツ振興大使活用イベント

○ 妊産婦・乳児：「食」食支援（妊娠おめでとう米）、離乳食支援（ファーストおかゆ）

○ 高齢者：「食」栄養・減塩・保健指導、健康推進員協働啓発（減塩）、健康学習会等  
「運動」通所型サービス・活動Cによる運動機能向上支援

<健康医療対策課>

★ 健康づくり事業（2,384千円）

★ 高齢者健康診査事業（31,844千円）

★ すこやかな妊娠・出産事業のうち「妊婦の食支援事業」（303千円）

<文化スポーツ課>

★ スポーツ推進事業（41,941千円）

【すべての人の健やかな生活習慣の形成】

○ 健診・がん検診の促進【特定健診受診率 R6:54.9%⇒R8:57%】

○ 生活習慣・慢性疾患の有病率分析

○ 企業連携の推進

○ 健康分析システムの調整、ひまわりネットへの加入促進等

<健康医療対策課>

★ 健康増進費のうち「職場におけるがん検診の受診率向上事業」（2,434千円）

★ 健康増進費のうち「有病率分析」（113千円）

★ 国保保健事業【国民健康保険特別会計】（10,044千円）

★ 特定健康診査等事業【国民健康保険特別会計】（51,363千円）

【支え合いの地域づくり】

【人材確保と医療・介護・福祉の連携】

戦略

【R9主な指標】

- ・地域福祉の推進、社協との連携・協働化
- ・障がい者雇用の促進
- ・閉じこもり防止、高齢者等の社会参加
- ・高齢者・障がい者等の相談機能充実
- ・在宅介護等に対する支援充実
- ・権利擁護、認知症、介護等に対する理解促進

【地域の居場所づくり：4圏域中3圏域で拠点整備】

【悩みや不安の相談先がある人の割合：R4：88.7%→91.6%】

戦術

【R8の主な取組】

【地域福祉の推進、社会福祉協議会との連携・協働化】

- 避難計画策定支援等による地域防災力の強化
- 地域に根差した地域福祉事業の展開  
＜社会福祉課＞
  - ★社会福祉法人運営費助成事業（145,690千円）
  - ★地域生活支援事業（74,689千円）

【障がい者雇用の促進】

- 一般企業と障害福祉サービス事業所等との連携
- 企業等への障がい者雇用の理解促進、一般就労の推進  
＜社会福祉課＞
  - ★障害者就労支援事業（3,370千円）

【閉じこもり防止、高齢者等の社会参加】

- 誰もが気軽に立ち寄れる常設の居場所づくりを推進  
＜高齢福祉課＞
  - ★生活支援体制整備事業【介護保険特別会計】（50,254千円）

- ・医療・介護・福祉の連携強化
- ・島内完結型の持続可能な医療提供体制の構築
- ・福祉医療環境等の充実のための人材育成及び確保

【中核病院の診療科の維持】

【病院看護師の新規就職数：R7：7名→15名】

【医療・介護・福祉の連携強化】

- 身寄りのない方への支援（ガイドライン策定）
- 在宅介護・看護の充実
- 高齢者施設の再編
- 健康プラットフォームの構築  
＜高齢福祉課＞
  - ★老人福祉一般経費（佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会負担金）（20,255千円）

【島内完結型の持続可能な医療提供体制の構築】

- 中核病院等の安定した運営にかかる体制支援  
＜健康医療対策課＞
  - ★病院補助事業（359,180千円）

【福祉医療環境等の充実のための人材育成及び確保】

- 市内医療機関等で就職する看護師の確保  
＜健康医療対策課＞
  - ★地域医療の人材育成・確保事業（74,141千円）

# 目標：生産年齢人口の割合維持

【凡例】  
 ・主要事業：★  
 ・新規（拡充）事業  
 ※当初予算の概要P11～12参照

【世界遺産登録を活かしたおもてなしの充実による地域づくり】

【歴史・文化・スポーツや四季を通じて交流で賑わう地域づくり】

## 観光入込客数60万人

### 戦略

【R9主な指標】

ビジネス  
(9万人)

帰省  
(7万人)

現状維持

#### 【個人観光】

- ・認知度の向上
- ・主要交通事業者との連携

【R7：26.8万人  
→33万人】

#### 【インバウンド】

- ・認知度の向上

【R7：7,155人  
→4万人】

#### 【団体旅行】

- ・認知度の向上
- ・修学旅行支援
- ・AGTとの連携  
(平日ツアー拡大)

【R7：5.2万人  
→7万人】

#### 【観光目的における 2泊以上の割合】

- ・滞在型観光の促進
- ・スポーツ大会による  
交流人口の拡大

【R7：55.8%  
→62.3%】

#### 【旅行満足度】

- ・島内二次交通の整備
- ・観光情報の充実
- ・体験コンテンツの  
魅力向上
- ・観光施設的环境整備

【R7：44.8%→45.0%】

### 戦術

【R8の主な取組】

#### 【認知度の向上】

- SNS等での発信
- 自治体連携プロモーション
- 旅行会社への営業強化

#### 【主要交通事業者との連携】

- OTVCM・番組放送での発信
- 官民連携プロモーション
- ＜観光振興課＞
- ★世界遺産「佐渡島の金山」誘客プロモーション事業（44,501千円）

#### 【認知度の向上】

- SNS等での発信
- 連携市等へのアプローチ
- 旅行会社への営業強化

＜観光振興課＞  
 ★外国人旅行客誘致事業  
 （15,134千円）

- 高付加価値な観光地づくり

#### 【認知度の向上】

- 旅行会社への営業強化
- トップセールス

#### 【修学旅行支援】

- バスツアー造成支援  
(修旅)

#### 【AGTとの連携 (平日ツアー拡大)】

- 平日ツアー造成インセンティブ
- バスツアー造成支援  
(一般)

#### 【滞在型観光の促進】

- 長期滞在への支援
- 体験コンテンツの充実
- ＜観光振興課＞
- ★滞在型観光促進事業  
(97,037千円)

#### 【スポーツ大会による 交流人口の拡大】

- ＜観光振興課＞
- ★スポーツツーリズム推進事業（30,600千円）

#### 【島内二次交通の整備】

- ライナーバス、周遊バス運行

#### 【観光情報の充実】

- ＜観光振興課＞
- ★観光デジタル化推進事業（21,110千円）

#### 【地域資源・体験コンテンツの魅力向上】

- 泊食分離の推進
- ＜観光振興課＞
- ★地域活性化に向けた泊食分離推進事業  
(9,846千円)
- 芸能文化継承の取組への支援
- ＜文化スポーツ課＞
- ★歴史文化資源を活用した誘客促進事業  
(20,700千円)

#### 【観光施設的环境整備】

- 観光資源の維持補修
- ＜文化スポーツ課＞
- ★史跡佐渡奉行所跡改修費（48,118千円）
- ＜世界遺産課＞
- ★世界遺産史跡保存整備費(48,858千円)
- ★重要伝統的建造物群保存事業(112,426千円)
- ★世界遺産建造物保存整備費(103,379千円)

# 目標：生産年齢人口の割合維持

【凡例】  
・主要事業：★  
・新規（拡充）事業  
※当初予算の概要P13～14参照

## 【労働力確保と移住・定住・交流人口拡大】

## 【脱炭素と循環経済の両立】

### 戦略

【R9主な指標】

- ・住まいの拠点拡大
- ・働く機会の創出
- ・人材確保
- ・関係人口の拡大

【UIターン者の確保 R6：445人⇒R9：470人】

【二地域居住者登録数 R6：0人⇒R9：100人】

### 戦術

【R8の主な取組】

#### 【住まいの拠点拡大】

○平成以降建築空き家利活用【現状0件⇒R8：20件以上】

#### 【働く機会の創出、人材確保】

○さどUIターン地元就職応援システム採用人数【現状7人⇒R8：12人】

○佐渡市雇用機会拡充に伴う新規雇用者数【R8：26名】

○さどマッチボックス成立数【現状500件/月⇒R8：600件/月】

<地域産業振興課>

★雇用促進の支援事業のうち「ふるさと就職応援金」(3,300千円)

★創業・事業拡大等支援事業(255,601千円)

<農林水産振興課>

★水産振興事業（兼業漁業者担い手総合支援事業）(5,503千円)

○EO加盟企業の誘致【現状8社⇒R8：10社】

<移住交流推進課>

★企業誘致・スタートアップ支援事業(2,990千円)

○特定地域づくり事業派遣の活用【現状6人⇒R8：10名】

<移住交流推進課>

★U・Iターンサポート事業(54,993千円)

#### 【二地域居住等関係人口の拡大】

○二地域居住登録者数の拡大【現状0人⇒R8：50名】

○保育園留学の受入世帯数【現状25組⇒R8：50組】

<移住交流推進課>

★二地域居住・ワーケーション受入促進事業(6,661千円)

- ・脱炭素と資源循環の両立
- ・生産（付加価値）額の向上、域内・域外での消費拡大

【市内経済循環率向上 R4：68.7%⇒R9：75.0%】

#### 【脱炭素と資源循環の両立】

○脱炭素移行による再エネ、木質バイオマス活用・資源循環の体制整備  
<総合政策課>

★ゼロカーボンアイランド推進事業(1,113,127千円)

★ゼロカーボンアイランド推進事業（原油価格・物価高騰対策）(66,429千円)

#### 【域内・域外での消費拡大】

<地域産業振興課>

★販売網体制構築事業のうち「県内広域連携事業委託（道の駅）」(2,333千円)

<農林水産振興課>

★輸送コスト低廉化事業(154,758千円)

#### 【生産（付加価値額）の向上】

<農業政策課>

★環境保全型農業直接支払費(39,138千円)

★みどりの食料システム戦略推進事業(6,327千円)

↓【地域を学ぶ機会】

↓【つながりづくりと認知向上】

↓【地域におけるサポート強化】

戦略

【R9主な指標】

- 保育園/小学/中学/高校
- ・地域学習機会の拡大

【地域や社会をよくしたい児童/生徒の割合 80.0%の維持】

※過去3年の平均を維持(全国:76.2% 新潟県:79.3%)

戦術

【R8の主な取組】

【知る機会の充実】

- 佐渡のことを知る(インプット)機会の増加  
 <農林水産振興課>
- ★森林環境整備事業(木育プロジェクト)(2,293千円)

【学ぶ機会の推進】

- 佐渡のことを理解する機会の増加  
 <社会教育課>
- ★学校・家庭・地域の連携促進事業(対話の場創出事業)(920千円)
- ★地域文化クラブ活動推進事業(1,984千円)
- ★地域運動クラブ活動推進事業(11,973千円)

【体験する機会の推進】

- 知ったこと/学んだことのアウトプットの場  
 <学校教育課>
- ★中学校キャリア教育推進事業(中学生国際交流事業)(3,595千円)  
 <社会教育課>
- ★社会教育事業(友好都市交流事業)(4,879千円)

- 大学/専門学校/佐渡出身者
- ・つながり醸成 ・情報発信/認知度向上

【卒業後佐渡に戻って就職したい学生の割合  
 R7:57.2% ➡ R8:59.7% ➡ R9:62.2%】

【つながりの醸成】

- 出身学生や出身者とのつながり、接点の創造  
 <地域産業振興課>
- ★佐渡出身学生応援ギフト事業(5,000千円)

【情報発信/認知度向上】

- 島内情報の発信による佐渡で働くことに対する認知度向上(島の推しごとグランプリ等)

- 大人/親世代

- ・学びの場の提供、参加機会提供

【今後も佐渡に住み続けたいと思う人の割合  
 R2:78.4% ➡ R8:90% ➡ R9:90%】

【知る機会の充実】

- 佐渡のことを知る(インプット)機会の増加  
 <農林水産振興課>
- ★森林環境整備事業(木育プロジェクト)(2,293千円)

【学ぶ機会の推進】

- 佐渡のことを理解し伝達する機会の増加  
 <社会教育課>
- ★学校・家庭・地域の連携促進事業(対話の場創出事業)(920千円)

【体験する機会の推進】

- 知識や歴史のアウトプットの場  
 <社会教育課>
- ★地域文化クラブ活動推進事業(1,984千円)
- ★地域運動クラブ活動推進事業(11,973千円)

【凡例】  
 ・主要事業：★  
 ・新規（拡充）事業  
 ※当初予算の概要P16参照

目標：基金に依存しない予算編成  
**R9：財政調整基金残高25億円（R6：23.7億円）**

戦略

【R9主な指標】

公共施設の見直し

- ・公共施設の在り方の見直し（▲1.5億円）
- ・公営企業の経営改善（▲0.5億円）

【効果額：▲2億円】

組織見直しと業務効率化

- ・デジタル化による業務効率化
- ・業務連携による効率化
- ・外郭団体の在り方の見直し
- ・官から民へ

【効果額：▲5億円】

財政基盤の確立

- ・ふるさと納税拡大・自主財源増  
 R8：15億円（+1.5億円）  
 R9：20億円（+4億円）
- ・使用料水準適正化（+3億円）

【効果額：+7億円】

戦術

【R8の主な取組】

【公共施設の在り方の見直し】

○各施設の稼働率調査、エリア別の必要数把握

○施設の民間譲渡、廃止、統合

【公営企業の経営改善】

○稼働率向上に向けた取組

○コスト削減による経営改善

【デジタル化による業務効率化】

○申請等窓口業務のデジタル化推進  
 <総務課>

★リモートでつなぐ市民窓口サービス事業  
 (8,364千円)

★デジタル化推進事業（26,542千円）

【官から民へ】

○マイナンバー発行等窓口業務の外部委託

【ふるさと納税拡大・自主財源増】

○ふるさと納税民間連携 →効果的なプロモーション  
 <総合政策課>

★佐渡ふるさと島づくり寄附金事業(748,235千円)

【R6:10億円⇒R8：15億円】

【使用料水準適正化】

○上下水道料金の引き上げ

○公共施設等の使用料見直し検討